

歴民だより

歴史民俗資料館

令和2年度 1月号 No.87

郷土の先人紹介

かすがのつばね

春日局の夫であった森部領主

いなばまさなり

稲葉正成



▲稲葉正成像（寛永寺 現龍院蔵）

春日局といえば、江戸幕府3代将軍、徳川家光の乳母として有名ですが、夫であった稲葉正成は、あまり知られていません。しかし、稲葉正成は関ヶ原の戦いで、小早川秀秋の家老として、西軍であった秀秋を東軍に寝返えらせ、東軍を勝利に導いた重要な役割を果たした人物でした。

そして、安八町にとって特筆すべきことは、森部の領主であったことです。稲葉正成は、戦国時代の元亀2（1571）年に、林政秀の次男として生まれました。幾多の戦場を駆け抜け、37歳の時、初めて美濃国十七条（※1）約1万石の藩主になりました。支城として羽島に本郷城を築き、約9,000石の羽島郡一帯と約1,300石の安八町森部地域も支配しました。

森部には、当時の正成の屋敷があったとの記録があり、当地域の「下屋敷」という小字名の起こりとされています。

※1・・・岐阜県瑞穂市にかつて存在した藩で居城は十七条城。

ハートピア安八
- 歴史民俗資料館 -

住所：岐阜県安八郡安八町氷取30
お問合せ：0584-63-1515